

# 技術士合格体験記

中央技術株

大 畠 利 宏



## はじめに

技術士の資格は、ライフワークのなかで取ればいいかなと、昔は考えていました。しかし、中高年の域に入り、私にも必要な資格に変わりました。通算10回以上受験しましたが、45歳位から必死になり、49歳での合格でした。

## 1. 感想

合格を確認し、正直、ほっとしました。“報われた”が一番近い感想かな、と思います。

口頭試験は、2名の試験官で45分の予定でしたが、私が答えられない問題があり、40分位で切り上げられたと思っていました。試験官の顔と、質問・解答を思い出しては落ち込み、どう考えても不合格と思っていただけに、“合格させてもらった”と感謝です。

筆記試験は、ヤマがはずれ再チャレンジとっていたので、筆記試験合格は、ラッキーでした。汚いなぐり書きのような答案を、良く読んでもらえたなど、改めて思いました。

また、添削等で応援してくれた人、勉強できる環境を作ってくれた社内の人、家族、飲み会の断りを受け入れてくれた友達にも感謝です。

## 2. 私の反省点

①筆記試験の合格通知をもらってから、経験論文を作り始めたので、口頭試験時のプレゼン・予想質問まで考えられず、一年前の論文を要約しただけになってしまった。

②BODとCODの相違点など、水処理の原理的な質問に答えられなかった。

③体力作りのためのプール通いをしばらく休んだ程度で、勉強に集中する時間を確保しきれなかった。

## 3. 受験される方へ

対策本などに、多くのアドバイスが載っています。同感と思った項目だけを挙げます。

①昨年から、筆記試験合格→経験論文提出→口頭試験に変わっています。筆記試験から経験論文が無くなり、筆記試験時の負担は小さくなったと思います。

②業績・結果より、途中経過・過程が重要です。

③試験官を納得させられなければ合格は難しい。

④添削をお願いすること。また、社内、家庭に協力をお願いすること。そして感謝！

⑤合格に対する強い信念を持つこと。喜びは早く、いやな期間は短く！

⑥仕事、勉強、遊び等を上手に切り替え、集中すること。みんな忙しい！

⑦日頃から、必要な分野に関心をもち、疑問点は解決すること。忘れる前に解決！

⑧インターネットでは最新情報が得られ、書き込みを読めば不安解消・励みになります。

## おわりに

今年は、準備不足でしたが、総合技術管理部門を受験しました。試験会場を見渡して、私より年上と感じたのは、数人かなと思いました。老化に負けず、他部門にも挑戦していきたいと思います。  
以上

略 歴：大畠 利宏

1958年 新潟県生まれ

1981年 中央大学理工学部土木工学科卒業

2006年 中央技術株式会社に入社

2008年 設計課長、現在に至る

資 格：測量士

一級土木施工管理技士

下水道技術検定2種

RCCM 下水道

RCCM 河川、砂防及び海岸・海洋

技術士 上下水道部門 下水道